

# 令和7年度新宿区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名：新宿区立西落合子ども園

施設所在地：新宿区西落合1丁目31番24号

## 1-1 活動テーマ

心も体ものびのび育つ運動遊び ～乳幼児期から育てる体幹づくり～

## 1-2 テーマ設定理由

姿勢が崩れやすい、転びやすいなどの子どもの実態を踏まえ、就学を見据えて乳幼児期の6年間体幹を整え基礎体力が向上する遊びを充実させる。また、自ら体を動かす心地よさを味わえるようにしながら心も体ものびのびと育みたいため。

## 2-1 活動スケジュール

第1回	5月	職員	講義・実技	
第2回		3・4・5歳児	実践活動	「平衡・定位分化・複合」
第3回	6月	3・4・5歳児	実践活動	「平衡・反応リズム・定位分化・複合」
第4回	7月	3・4・5歳児	実践活動	「平衡・反応リズム・定位分化・複合」
第5回		3・4・5歳児	実践活動	「平衡・反応リズム・定位分化・複合」
第6回	9月	3・4・5歳児	実践活動	「平衡 反応リズム 定位分化 複合」
第7回		2・3・4・5歳児	実践活動	「平衡・反応リズム・定位分化・複合」
第8回	10月	2・3・4・5歳児	実践活動	「平衡・反応リズム・定位分化・複合」
第9回		2・3・4・5歳児	実践活動	「平衡・反応リズム・定位分化・複合」
第10回	11月	2・3・4・5歳児	実践活動	「平衡・結合変換・複合」
第11回		2・3・4・5歳児	実践活動	「平衡・結合変換・複合」
第12回	1月	職員	園内発表	



### 3-1 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

#### 《素材や道具》

巧技台、大・中・小のコーン、マット、カラーボックス、マーカー（長方形・丸）、折り畳みパネル、ホースリング、平均台、ウレタン棒、ボール（やわらかいボール・ドッジボール）、CD、再生アンプ

#### 《環境の設定》

ホールを広く使って活動できるように環境を整える。  
子どもたちが自由に道具を使用できるように棚や置き場所を工夫する。



### 4-1 探求活動の実践 活動の内容

- 【準備運動】 一緒に立つ、座る 模倣で立つ、座る 一緒に歩く、走る等
- 【平衡】 クローリング 長座立ち くの字 Sの字 ラディアン等
- 【反応リズム】 サイドステップ 追いかっこ 手足のタップ等
- 【定位分化】 ボール操作 バウンドキャッチ 三点キャッチ等
- 【結合変換】 リングジャンプ リングステップ等
- 【複合】 高這い島わたり 高這い鬼ごっこ ボール渡しゲーム  
ジャングル鬼ごっこ 心合わせ チャレンジステージ等



脳と心と身体を刺激して、学ぶ力を高める運動を行いました。音楽に合わせて体を動かしています。講師の動きを見たり、音を聞いたりしながら、自分で体の動かし方を工夫しています。当初は、ラディアンの際に脚が上がらず、タイミングもうまく合いませんでしたが、継続して取り組むことで、タイミングよく脚を上げてジャンプしようとする姿へと変化してきました。保育者に良いところを認められたり、見本として披露したりする経験を通して、楽しみながら意欲的に取り組む姿が見られました。繰り返し経験する中で、子どもたちなりにコツをつかみ体を動かしています。

掌より少し大きめの柔らかいボールを使用した定位分化能力の運動では、保育者と子どもが向かい合い、掛け声をかけながら、一人一つのボールを渡し合いました。その際、ボールを見ずに顔を上げたまま、渡したり受け取ったりすることを意識して行いました。慣れてくると、徐々に速度を上げていきました。その後の活動では、子ども同士でペアを作り、ボールの受け渡しに挑戦しました。さらに、3人、5人と人数を増やしながら取り組み、最後には年長児クラス全員でボールを受け渡すことができました。

## 4-2 活動中の子どもの声、子ども同士や保育者との関わり

講師が活動の準備をする様子を見て、「面白そう」「やりたいな」と、楽しみにしたり期待をもって参加する姿が見られました。また、前回の活動を覚えており、「この前のやつ、やりたい」と期待する様子もありました。

2歳児クラスは年度途中からの参加でしたが、まず保育者が楽しんで参加することで、子どもたちも安心して活動を楽しむことができていました。

3歳児クラスは、講師の動きを真似るところから始まり、次第に自分で考えて動く姿へと変化し、さまざまな動きを楽しんでいました。

4歳児クラスでは、友達とボールの渡し方について作戦を立てたり、声を掛け合ったりしながら、協力して楽しむ姿が見られました。

5歳児クラスでは、さまざまな運動遊具を自分たちで設定し、ぶつからないように避けたり、鬼にタッチされないように逃げたりする「ジャングル鬼ごっこ」が盛り上がりました。「鬼が来れない場所を作ろう」「ここはワニがいるから気を付けて通ろう」など、自分たちで考えながら遊びを発展させ、楽しんでいました。



## 5-1 振り返りによって得た先生の気付き

### ～活動当日の気付き～

- ・声のかけ方やタイミングによって、子どもたちの反応に違いが見られました。今後の活動にも活かしていきたいと考えています。
- ・動きができることや完成度の高さを求めてしまっていることに気付きました。子どもたちが楽しみながら体を動かす中で、気付きや発見につながるよう、関わり方や運動の積み重ねを大切にしていきたいと思います。
- ・普段はボール遊びをしたがらない子も、講師の「ボールのおうちに入れようね」といった言葉かけによって、楽しそうにボールを入れる姿がみられました。イメージしやすい言葉かけによって、楽しみながら体を動かしていたのだと感じました。
- ・今後も、さまざまな運動を継続するとともに、内容の工夫とやルールの変更などを取り入れながら、楽しめる活動を行っていきます。

### ～1年間を終えての気付き～

- ・運動の場面では、保育者も一緒に楽しむことで見本となり、「やってみたい」という気持ちにつながることを学びました。
- ・講師の言葉かけや運動用具の組み合わせ、見立て方などを、今後の保育にも活かしていきたいと考えています。
- ・子どもが自らやってみたくなるような環境設定を心がけていきます。
- ・運動面だけでなく、気持ちの育ちや協調性、ルールを守る意識などについても大切にしながら、子どもたちの成長を見守っていききたいと思います。

